

## 『書籍の電子化と著作権』

2011年7月27日

大日本印刷株式会社  
教育・出版流通ソリューション本部  
長丁 光則

**DNP**

© 2011 Dai Nippon Printing Co.,Ltd. All Rights Reserved.

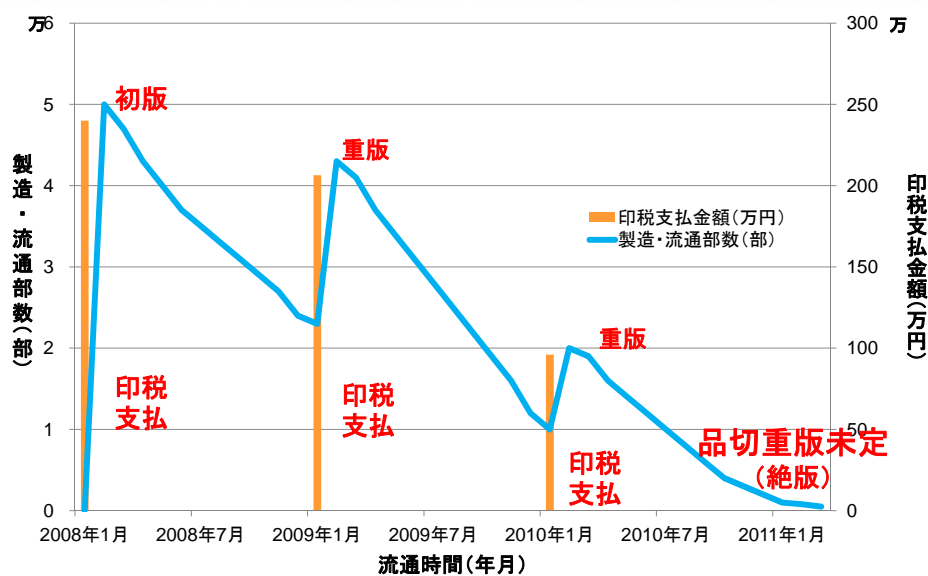
### 電子書籍コンテンツを著作権管理からみたら

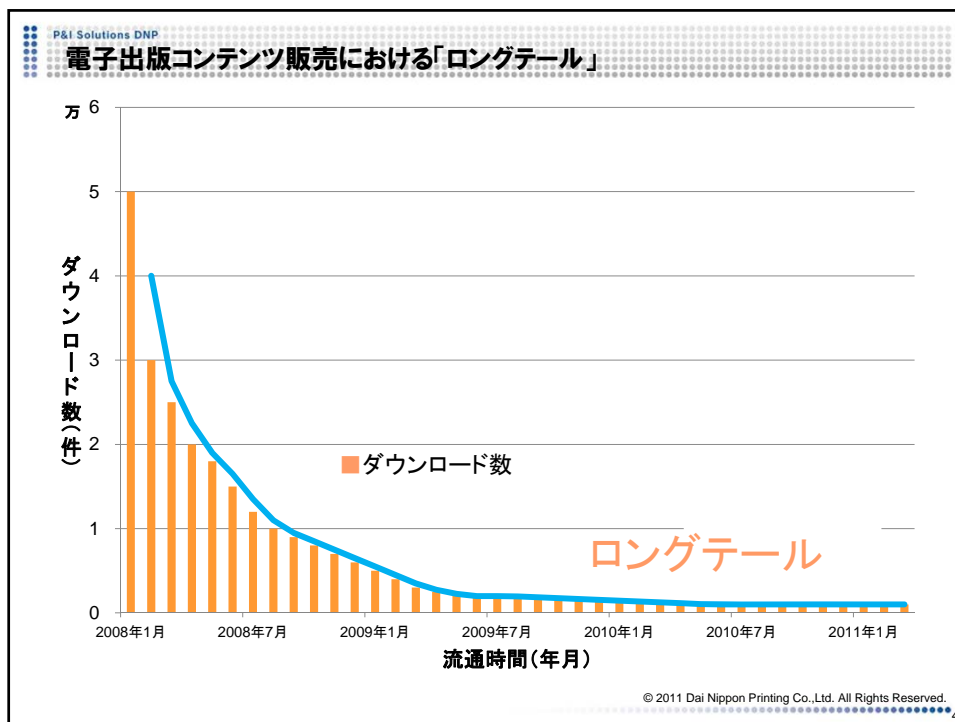
- コンテンツの長寿命化
- コンテンツの細分化（再構成）
- 支払印税の小額化
- 著作権相続の増加

© 2011 Dai Nippon Printing Co.,Ltd. All Rights Reserved.

# コンテンツの長寿命化

一度ネット販売ルートに乗った電子出版コンテンツは、長期間商品として流通し  
今後進化する検索エンジンなどによって  
ヒットされ売れ続ける。





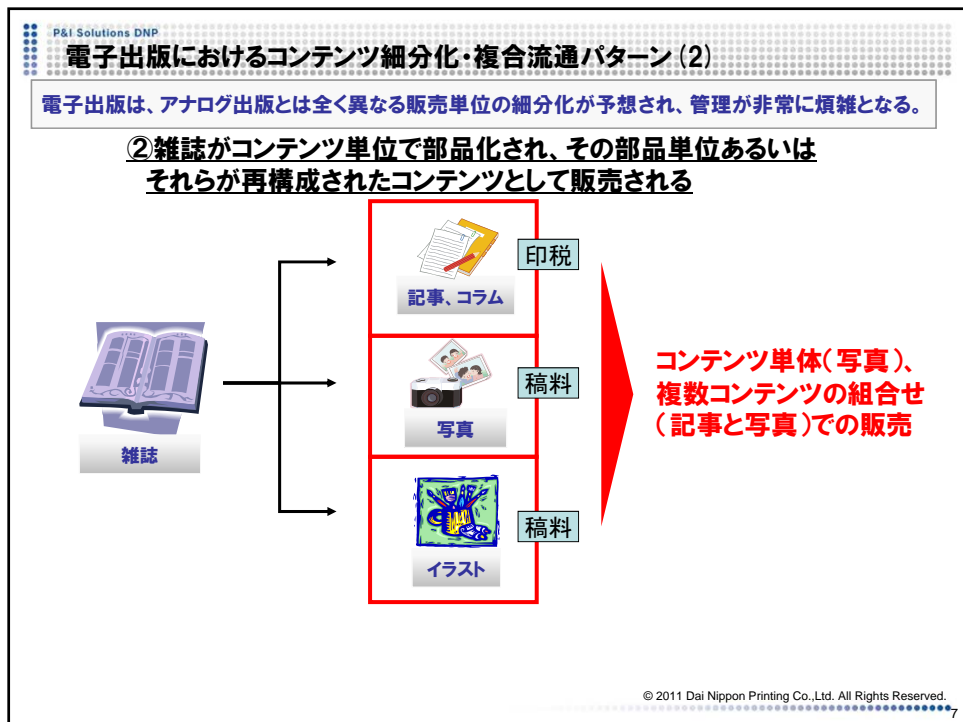
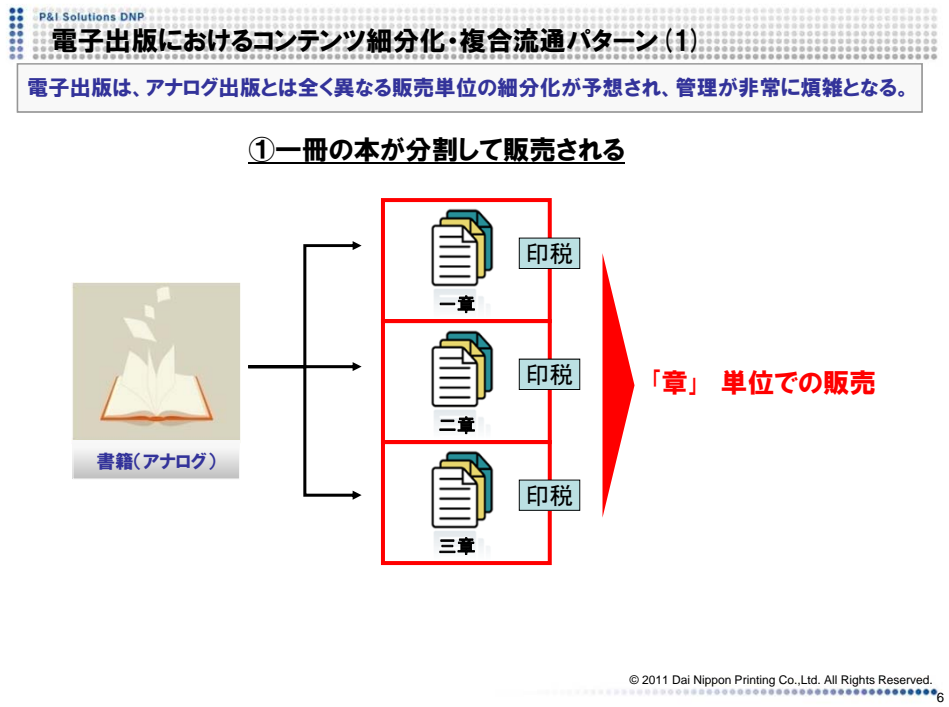
P&I Solutions DNP

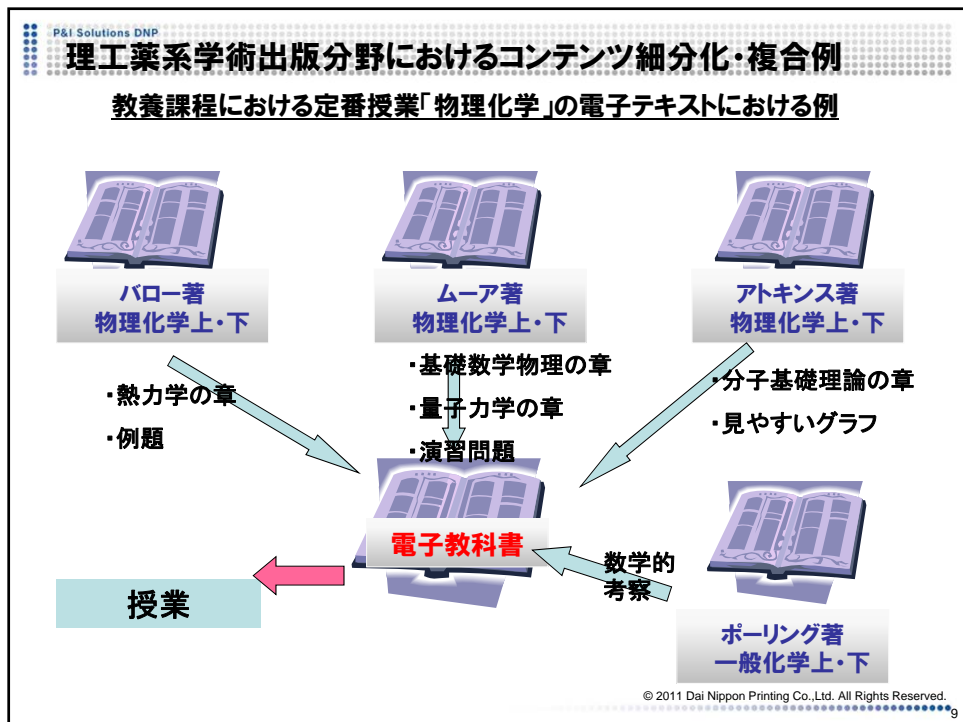
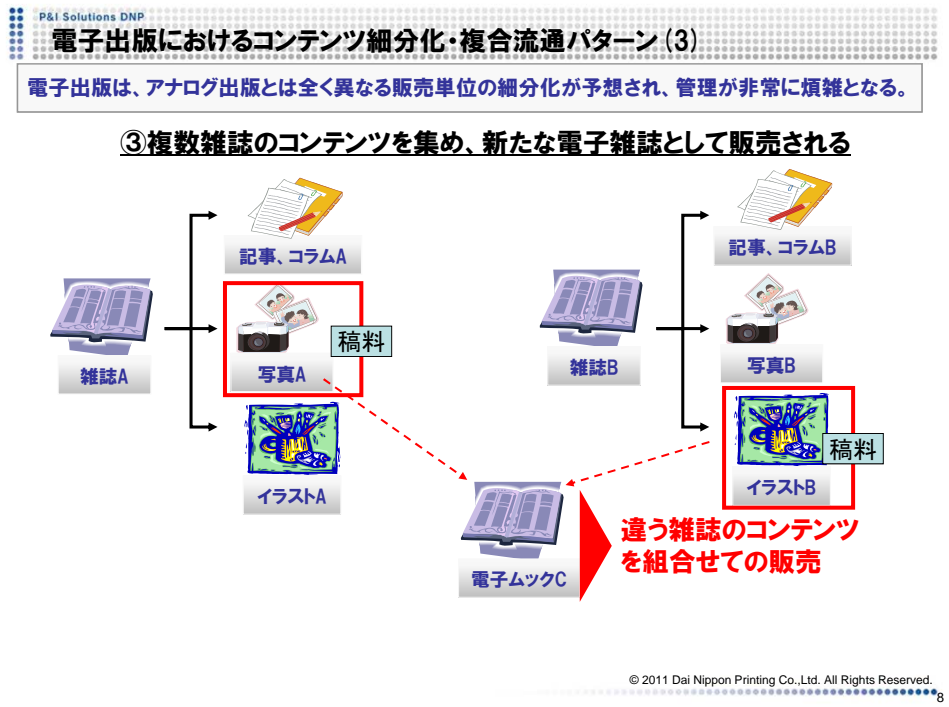
### 電子出版における著作権・印税管理の特徴(2)

# コンテンツの細分化

電子コンテンツは細分化  
(マイクロコンテンツ化)が容易であり、  
読者・市場・流通・編集のニーズに合わせて  
細分化されていく。

© 2011 Dai Nippon Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.



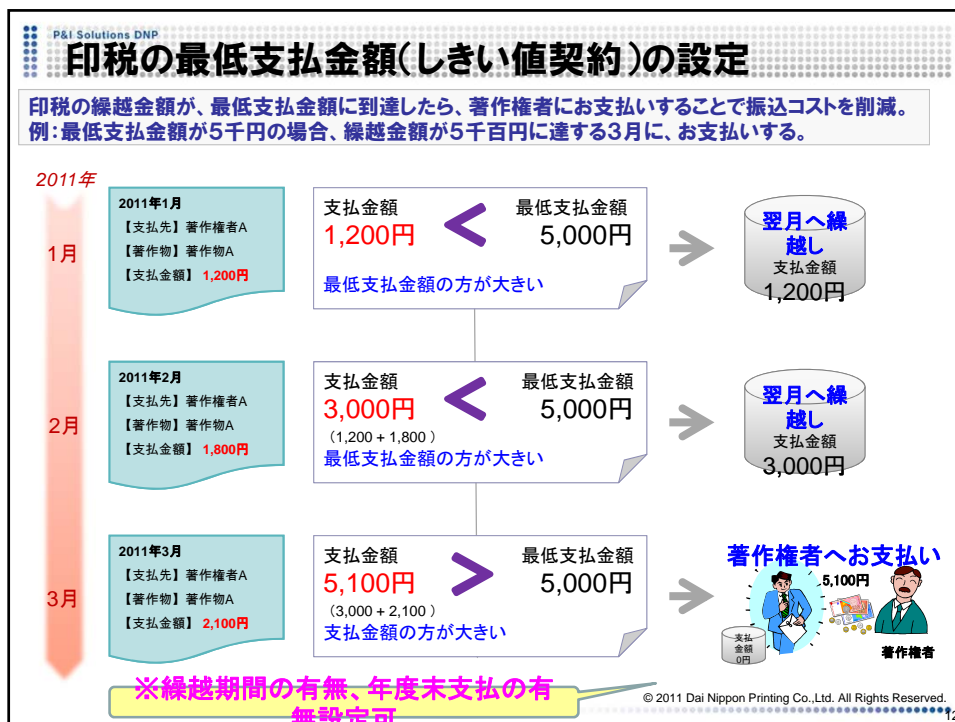


## 支払印税の小額化

コンテンツの流通(販売)単位が  
小さくなり、印税支払契約で決められた  
期間における印税額が小額になっていく。

### 電子書籍コンテンツ ダウンロード数(販売)の実態

電子流通開始後6ヶ月以上経過した  
コンテンツの約40%は  
**10ダウンロード／年 未満**



P&I Solutions DNP

## 電子出版における著作権・印税管理の特徴(4)

# どんどん出てくる 著作権相続

著作権は著者没後50年間相続者に相続される。

これまで一部の著名作家や特殊な分野の著作物に限られていた著作権相続が、コンテンツのネット流通によって長寿命化し権利相続されていく可能性がある。

© 2011 Dai Nippon Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

## 著作権相続の対応

著作権の相続があった場合にも、著作権者、著作物、契約、印税支払情報の管理継続。  
例：著作権者Aから著作権者Bへ、権利譲渡後も、著作権者との契約は継続する。

